

2018年11月02日

多摩市長 阿部 裕行 様

多摩市の社会教育を考える会

代表 荒井 容子



第二次多摩市ストックマネジメントに関する質問

多摩市は、ホームページで「平成19年12月に策定した多摩市ストックマネジメントを更新し、平成30年2月に第二次多摩市ストックマネジメントを策定しました。本計画は、現存する公共建築物を安全に長期に渡って利活用するため、適切な維持・保全及び管理を図ることを目的に、基本方針の策定をしております。また、平成23年に策定した公共建築物保全計画も本計画に取り込んで見直しを行い、一体的な計画としました」としています。

下記の点をお尋ねします。

記

1、第二次多摩市ストックマネジメント第5章 保全計画 1.保全スケジュール ア 平準化前、イ 平準化後の（ア）スケジュールの表中の TOMハウスが2年前倒して改修することになった根拠をお示してください。

2、図書館、地区市民ホール、児童館、学童クラブ、老人福祉館を擁する（施設によって異なるが）四つの複合館（連光寺、豊ヶ丘、諏訪、東寺方）は、今まで一度も大規模改修を行っていません。とりわけ、上述の五つの施設すべてを要する豊ヶ丘複合館、東寺方複合館は、それぞれ建築から39年、37年以上経過しています。大規模改修が先送りとなっているのは何故ですか。

3、「多摩市公共施設の見直しプログラム」の更新で、豊ヶ丘複合館と東寺方複合館について、「廃止」から、「当面存続」へと、市民の意見を反映させ、提示しました。平成23年に策定した「公共建築物保全計画」と一体化した「第二次ストックマネジメント計画」に則って、予算化し、着手する時間的な見直しをお聞かせください。

両複合館では、周辺地域住民と今後のあり方が話し合われていると聞いています。話し合いは丁寧に、行う必要があります。しかし、施設保全のための大規模改修を遅らせることもできません。周辺地域住民との話し合いで、合意形成を部分的に早めるか、それができなければ、既存施設の現状を前提に、大規模改修を実施しておく必要があります。予定の年度に、利用者の合意をもとに、大規模改修を的確に進める具体的な行政施策をご説明ください。

以上

なお、回答は、自治基本条例に基づき、1ヶ月以内に文書でお願い致します。